

令和6年度文部科学省委託事業「特別支援教育に関する実践研究充実事業」

愛媛大学 盲ろう児教育に関する

公開講座・出張講座・コンサルテーション 実施要項

～盲ろう児者の生きる力を育み、地域の宝に変える～

1. 開催趣旨

近年、特別支援学校に在籍する子供たちの数は増加傾向にあり、多様な障害の種類や状態等に応じた指導や支援がより強く求められるようになっていきます。特に、盲ろう児に対する特別支援教育については、盲ろう児が視覚障害や聴覚障害などの単一障害を有するものと比べて数が少ないため、指導事例が蓄積されにくく、教職員間で知見が共有されにくいという課題があります。

また、後天的に盲ろうとなる方（後天性・成人期盲ろう）も多く、障害には多様なタイプ・経緯が存在することから、盲ろう児の認知発達段階や取り巻く人的・社会的環境に依拠して円滑な支援・指導方法が異なります。以上のことから、先天性盲ろうとあわせて、後天性盲ろうや今後盲ろうになる可能性がある児童生徒に対して適切に指導・支援ができる教職員の専門性向上が喫緊の課題となっています。本事業は、①盲ろうという障害への理解の促進、②盲ろう児を指導・支援するための指導法や教材の紹介、③盲ろう教育に関わる教職員の交流の場を提供することを目的とします。

現在、次の3つのプログラムを実施しております。

1. 動画コンテンツを通して盲ろう教育について学ぶことができるオンデマンド型公開講座
2. 希望する学校へ盲ろう教育に関する専門知識を有する講師を派遣する出張研修
3. 実際に盲ろう児やその可能性がある児童生徒を担当する教員への情報提供・コンサルテーション

2. 実施機関

愛媛大学教育学部、文部科学省

3. 参加費

無料

4. 実施内容

【1. 公開講座：オンデマンド型（録画授業の配信）】

受講生はインターネットで、ご都合の良い時間帯に講義を受けることができます。

公開講座のタイトル（各30～60分程度、全8回）

- ・盲ろう者概論
- ・盲ろう児者の支援機器利用
- ・盲ろう予備群としてのアッシャー症候群が疑われる児童生徒に対する指導
- ・ある盲ろう者の手紙から
- ・終業式の通訳事例（指点字・触手話・ブリスト・音声）
- ・カンファレンス_障がい者が社会参加する際の必要要件
- ・カンファレンス_盲ろう者の情報機器利活用と映画鑑賞
- ・盲ろう疑似体験

【2. 出張研修】

希望する学校へ盲ろう教育に関する専門知識を有する講師を派遣。

研修内容

- ・盲ろう者概論
- ・盲ろう児者の発達・心的過程
- ・生活・学習上の困難
- ・支援上の留意点についての概説
- ・盲ろう疑似体験

【3. コンサルテーション】

講師が視察させていただき、盲ろう児者一人ひとりのタイプ・コミュニケーション手段に合わせた情報提供・コンサルテーションを実施。

5. 担当講師

大河内 直之（東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員）

苅田 知則（愛媛大学教育学部 教授、愛媛大学教育学部附属インクルーシブ教育センター センター長）

高橋 信行（えひめ盲ろう者友の会 理事長）

三科 聡子（宮城教育大学教育学部 准教授）

※五十音順

6. 申込方法

愛媛大学インクルーシブ教育センターのホームページ上に、申し込み方法を掲載しています。



7. 問い合わせ先

〒790-0855 愛媛県松山市持田町 1-5-22

愛媛大学教育学部附属インクルーシブ教育センター

電話：089-913-7883（平日 10時～17時）

メール morokyoiku.karilab@icloud.com

HP <https://ehimeuniv-cie.jp/morokyoiku/>